



2012年5月 第362号

スズキ労連

2012年
5月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 古川正明
編集人 堀 吉伸

2012年総合生活改善の取り組み

『販売部門』回答出る!

全ての組合での4月内決着にはいたらなかったが、集中回答日の4月20日(金)、販労各支部より続々と回答速報がスズキ労連に報告された。

【スズキ新潟販売労組 回答内容】

- 賃金引上げ
賃金制度維持
- 一時金
4.0ヶ月(夏:2.0、冬2.0 付帯あり)

【スズキ販売労組 各支部回答内容】

- 賃金引上げ
標準的に昇格・昇進した者の昇給額は、昨年と同等水準とする。
- 一時金
4.8～5.0ヶ月

スズキ労連『販売部門』の各組合は、2月に要求書を一齐に提出しました。

販売を取り巻く環境は、今国会で平成23年度第4次補正予算で新エコカー補助金制度が可決され、低燃費車を中心に販売数が増加していますが、終了予定の2013年1月31日を待たずして、予算3,000億円を使いきり、夏頃には補助金が終了する見通しです。

この制度が終われば、販売数の反動減が懸念され、昨年度に引き続き先行きが不透明な難しい環境となっています。

こうした厳しい環境を認識したうえで、これまで様々な困難に立ち向かい、会社業績を下支えするために、この1年間、懸命に会社施策に協力してきた組合員が、今後も意欲と活力を持って働いていくための「人への投資」の重要性をはじめとした、要求に込めた切実な思いを精一杯主張し、4月内の回答引き出しに向けて共闘し、会社側との粘り強い交渉を続けてきました。

そして、スズキ新潟販売労組をはじめ、4月20日にはスズキ販売労組の各支部において回答を受け取りました。

スズキ販売労組 国内営業本部との意見交換開催!



スズキ販売労組50支部の委員長・スズキ販労本部が出席(左:会社側、右:組合側)

4月11日(水)、グランドホテル浜松(静岡県浜松市)において、スズキ販売労働組合はスズキ(株)国内営業本部と意見交換会を実施しました。組合からはスズキ販労を代表して5支部が、組合員の努力や職場での頑張りなどの声を伝え、会社からは、組合員の頑張りに対する感謝と2011年度の業績、2012年度の方針について説明がありました。

スズキ(株)国内営業本部 田村副社長



- ・2011年度の収益については、全代理店で黒字を確保することができ、組合員の日頃の頑張り感謝する。
- ・2012年度はエコカー補助金が早期に終了する見込みで、下期は反動で市場が冷え込むと予想される為、上期に1台でも多く販売して頂きたい。

・今後に向けて、今までのやり方では生き残っていけない。発想を転換していく必要があり、組合員みんなの力でスズキのブランド力を向上させなければならない。

スズキ販労 後藤中央執行委員長 (スズキ労連副会長)



- ・2011年度前半期は震災の影響により生産が困難な期間があり厳しい状況であったが、後半期に復活したエコカー補助金により、前半分の遅れを挽回できたように感じる。
- ・2月22日(水)に各支部で会社へ要求提出させていただいた。国内市場が厳しい中、各支部の組合員は、持ち場・職場で努力し、会社に貢献してきた。
- ・「1年間の頑強りが評価された」と実感できるような春の取り組みにしていきたい。

スズキ労連

第40期



ヤングリーダー研修会開催! インプロを体験!

4月14日(土)～15日(日)の二日間にわたり、『第40期ヤングリーダー研修会』を開催しました。

今回の研修には「インプロ・シンキング・ワークショップ」を取り入れました。「インプロ」とは、「インプロビゼーション(improvisation)からきた言葉で、「その場でその瞬間に起きたことを全て受け入れながら作られていくエンターテインメント」を意味します。研修では、いくつかあるインプロの意識すべきポイントについて、それぞれ20～30分くらいのワークショップを体験し、コミュニケーション力・チーム力・変化対応能力などを身につけていきます。

最初は表情が固かった受講生も、すぐに打ち解け合い、笑いが絶えず、あらゆることに瞬時に対応する即興力を自分のものにしていったように感じました。

この研修をとおして、受講生は自分の変化を感じ取られたことと思います。この経験が組合活動に活かされることを期待しています。



講師を囲んで記念撮影。
今回は45名(男性21名、女性24名、平均年齢26.1歳)が受講。



RENGO

連合 日本労働組合総連合会

働くものの祭典

第83回メーデー中央大会

メーデー スローガン

日本全体でつながり・支えあおう!
全ての働く者の連帯で働くことを軸とする
安心社会を実現しよう!

4月28日(土)、東京・代々木公園で連合第83回メーデー中央大会が開催され、私たちの働くなかま、およそ35,000人が参加しました。

今年のメーデーは、東日本大震災からの復興や雇用の安定化、格差是正を反映したスローガンを掲げ、多くのNGO・NPO団体や非正規労働者も参加しました。

中央式典での連合・古賀会長あいさつでは、東日本大震災の被災地を取り巻く厳しい現実について述べ、『雇用の再生なくして、被災地の復興・再生はない』と訴えました。

式典の終わりでは、持続可能な日本経済の成長、世界の恒久平和の実現、そしてディーセントワークの実現を盛り込んだ「メーデー宣言」が提案、採決され団結ガンパローで締めくくりました。



スズキ労連からは15名が参加

第1回 スズキ労連みんなの写真コンテスト

テーマ「絆(きずな)」

募集中! 6月7日(水)まで

スズキ労連では、文化活動の一環として、全国規模で組合員のみなさんが参加できる文化行事(写真コンテスト)を今期より開催します。第1回のテーマは「絆(きずな)」。みなさんが感じる「絆」をお待ちしています。

募集期間:5月7日(月)～6月7日(水)

応募作品: 応募者本人が撮影した
オリジナル写真
(四つ切 or A4サイズ)

応募点数: 一人につき一点

応募先: 組合事務所または支部書記局へ

賞品: 最優秀賞 1名(1万円相当の賞品)
優秀賞 3名(5千円相当の賞品)
佳作 10名(千円相当の賞品)
参加賞 応募者全員

入選発表: 8月上旬にスズキ労連ブログにて

詳しくは、
応募要項を
ご覧ください。



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、
コンプライアンス、人間
関係、私生活・・・
悩みはいろいろあるけれど、
職場ではちょっと相談しにくいなあ。



こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月～金 9:00～19:00
相談無料・秘密厳守

「スズキ労連」機関誌に対するご意見・ご要望が ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : yhori@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007